

令和3(2021)年度

施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市民意向調査報告書

令和3(2021)年6月

栃木県真岡市

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	
	(2) 調査対象地域	
	(3) 調査対象者	
	(4) 抽出方法	
	(5) 調査方法	
	(6) 調査期間	
	(7) 回収状況	
2	調査の結果	3
問 1	性別	3
問 2	年齢	3
問 3	居住地区	3
問 4	現在の真岡市のイメージ	4
問 5	真岡市が「どのようなまち」になったら良いか	6
問 6	今後のまちづくりで力を入れてほしい施策	7
問 7	住んでいる地域（町会）の生活環境について	8
	【地域情報化について】	
問 8	市政情報の入手方法	10
	【生涯スポーツ・レクリエーションについて】	
問 9	現在行っている、また今後行いたいスポーツ・レクリエーション	11
	【国際交流について】	
問 10	外国人との交流	12
	【男女平等に関する意識について】	
問 11	現在の男女の立場について	13
	【男女共同参画社会の実現について】	
問 12	固定的な性別役割分担意識について	14
問 13	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について	14
問 14	DVによる相談機関について	15
	【結婚・家庭生活・子育て・介護について】	
問 15	夫婦や家族の間での役割分担	15
	【子育てについて】	
問 16	真岡市で今後も子育てをしていきたいと思うか	16
	【健康づくりの推進】	
問 17	健康で元気に暮らしていると思うか	16
問 18	健康づくりのために取り組んでいること	17
問 19	健康づくりに関する言葉について	18
	【地域医療体制の充実】	
問 20	地域で適切な医療が受けられていると思うか	18
問 21	かかりつけの医療機関の有無	18

【救急救助と救急医療の充実について】	
問 2 2 過去 1 年間の救急車や救急病院の利用の有無	19
問 2 3 救急車や救急病院の対応の満足度	20
【自然環境の保全と保護について】	
問 2 4 自然環境の保全活動への参加	20
問 2 5 環境保全に関するボランティアへの関心	21
問 2 6 家庭で地球温暖化対策に取り組んでいること	22
【消防・防災対策について】	
問 2 7 災害に対して備えていること	23
【防犯対策について】	
問 2 8 犯罪に対する不安	24
【農業の振興（食育の推進）について】	
問 2 9 食育への関心	25
問 3 0 食品の安全性への不安	25
問 3 1 食事バランスガイドの内容の理解	25
【消費者の自立と保護について】	
問 3 2 消費生活や相談窓口の情報を十分に得られているか	26
【市民協働のまちづくりについて】	
問 3 3 地域での活動への参加状況	27
【開かれた市政について】	
問 3 4 市政に関する情報を得られていると感じるか	27
【その他】	
問 3 5 真岡市の市政（まちづくり）への満足度	28

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「真岡市総合計画 2020-2024」に掲げる施策をより効果的かつ計画的に推進するため、各施策の『成果指標（市民の皆さまの満足度等）』の把握を目的としたアンケート調査を実施するものである。

(2) 調査対象地域

真岡市全域

(3) 調査対象者

市内に在住する満18歳以上の男女

(4) 抽出方法

無作為抽出

(5) 調査方法

①調査票の配布は郵送により実施

②調査票の回収は以下の方法から回答者が選択

○調査票に直接回答記入し、返信用封筒で返送

○PCより調査票に記載したURLにアクセスし、回答フォームに回答

○QRコードにアクセス（スマートフォンまたは携帯電話）し、回答フォームに回答

(6) 調査期間

令和3年4月～令和3年5月

(7) 回収状況

◇配布数 : 3,000 票

◇有効回収数 : 1,281 票

◇有効回収率 : 42.7%

※グラフ・文中の標記について

- ◇グラフの基数は、特に標記のない限り総数（n=1,363）である。
基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記している。
- ◇各設問において、次の略称を使用している。
SA (Single Answer) : シングルアンサー（一つだけ選択回答）
xLA (Limited Answer) : リミテッドアンサー（x 以内選択回答）
MA (Multi Answer) : マルチアンサー（複数選択回答）
- ◇表やグラフの構成比は、項目ごとに小数点第2位を四捨五入することから、それらの合計が 100.0%にならないことがある。

※標本誤差について

- ◇この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度を 95%とする。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

b=標本誤差
N=母数集団
n=基礎・サンプル(回答者数)
p=回答比率
1.96=信頼度95%の場合

標本誤差の早見表は下表のとおりである。表の見方は、例えばある質問の回答者数が 1,281 人で、回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差は、最大で±2.71%以内となることを示している。

たとえば、本調査のある設問に対し「そう思う」と回答した人が 50%いた場合、真の値は 95%の確率で 47.3~52.7%の間にある、ということになる。

回答比率 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,281人	±1.63	±2.17	±2.48	±2.66	±2.71
1,200人	±1.68	±2.24	±2.57	±2.75	±2.80
1,100人	±1.76	±2.34	±2.69	±2.87	±2.93
1,000人	±1.85	±2.46	±2.82	±3.01	±3.08
500人	±2.62	±3.49	±4.00	±4.28	±4.37

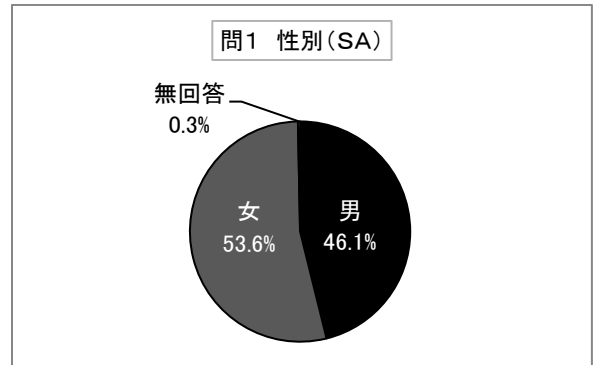
※令和 2(2020)年 10 月 1 日現在における 18 歳以上の真岡市の人口 65,679 人を母集団として計算。(栃木県毎月人口調査より)

2 調査の結果

【回答者の属性】

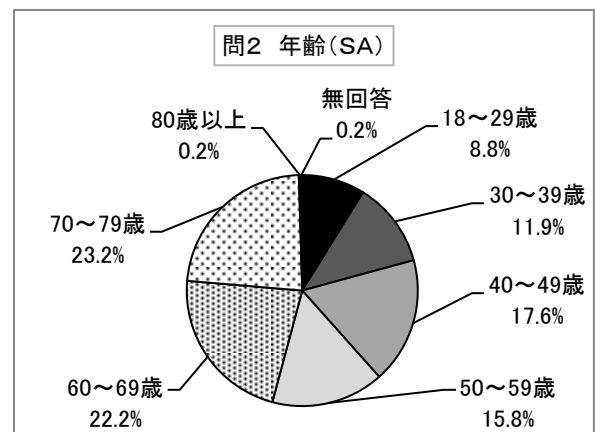
問1 あなたの性別は。

性別	今回調査数	構成比
男	591	46.1%
女	686	53.6%
無回答	4	0.3%
合計	1,281	100.0%



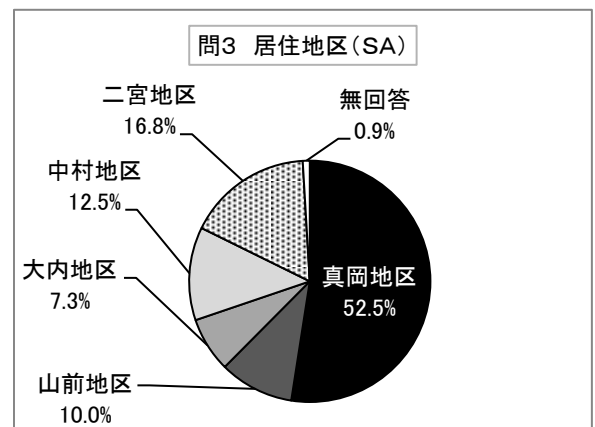
問2 あなたの年齢は。

年齢	今回調査数	構成比
18～29歳	113	8.8%
30～39歳	153	11.9%
40～49歳	226	17.6%
50～59歳	202	15.8%
60～69歳	284	22.2%
70～79歳	297	23.2%
80歳以上	3	0.2%
無回答	3	0.2%
合計	1,281	100.0%



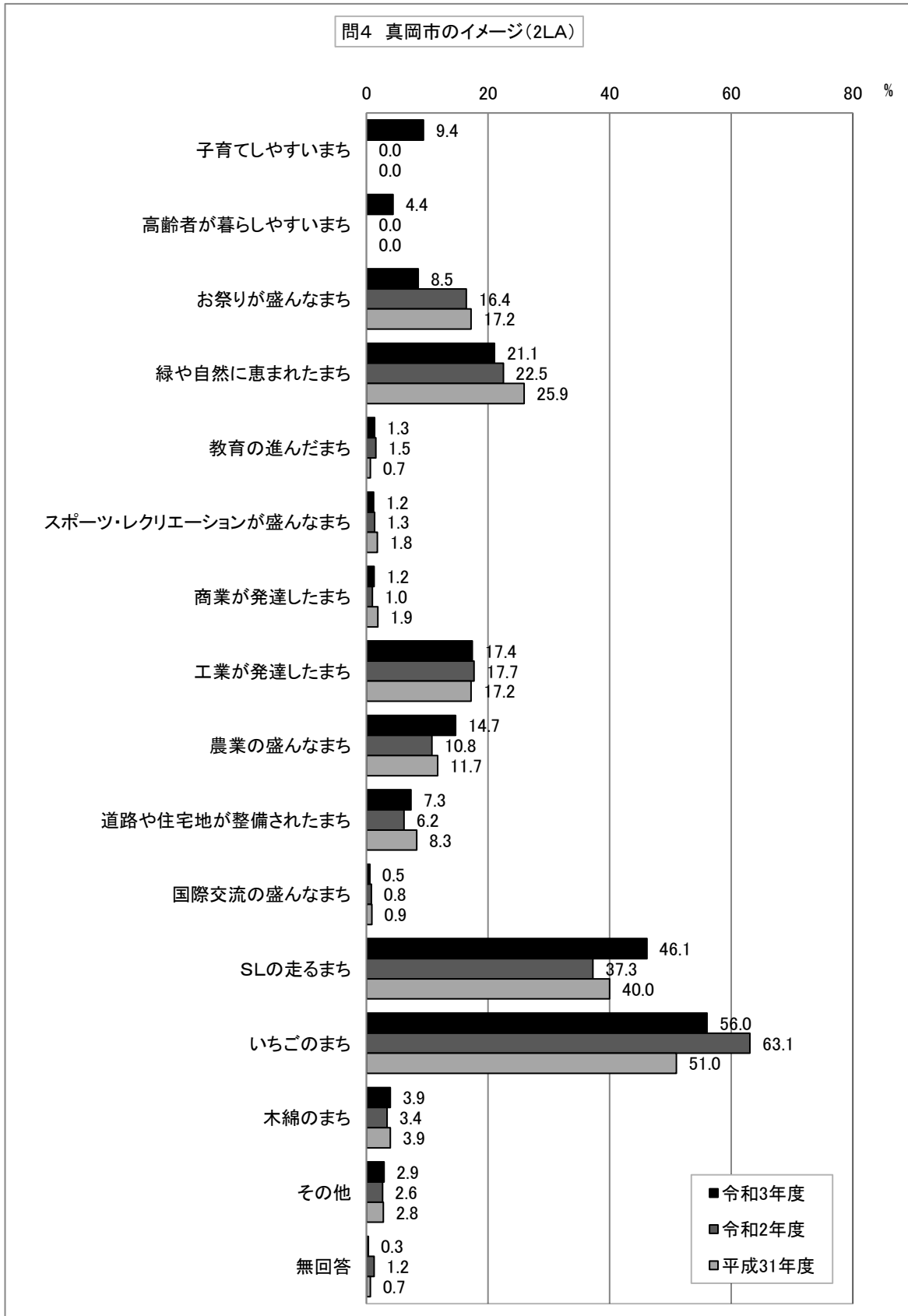
問3 あなたの住んでいる地区は。

居住地区	今回調査数	構成比
真岡地区	672	52.5%
山前地区	128	10.0%
大内地区	94	7.3%
中村地区	160	12.5%
二宮地区	215	16.8%
無回答	12	0.9%
合計	1,281	100.0%



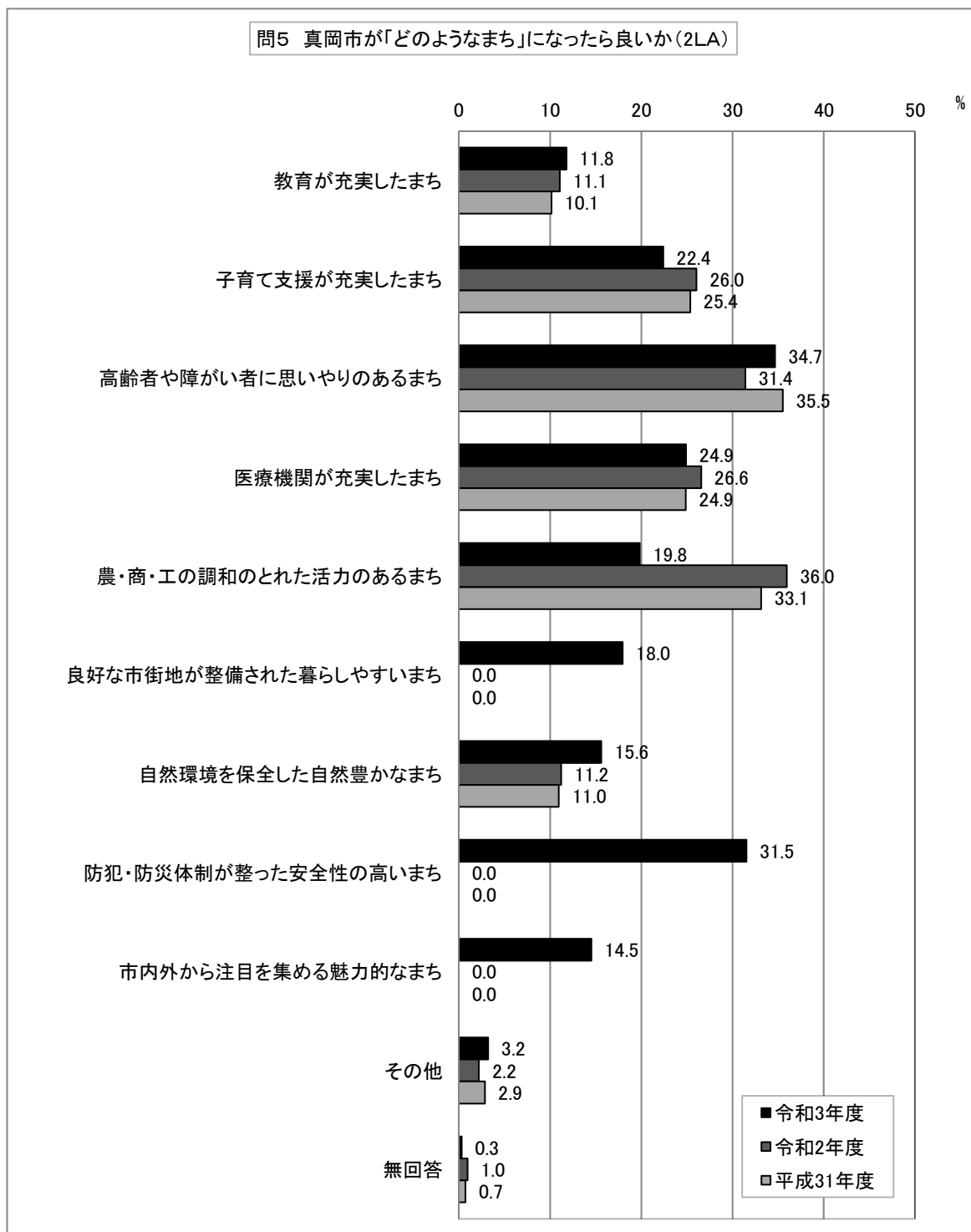
問4 真岡市について、現在どのようなイメージをお持ちですか。
次の中から2つまで選んでください。

真岡市のイメージについては、「いちごのまち」が56.0%と最も高く、次いで「SLの走るまち」が46.1%であった。



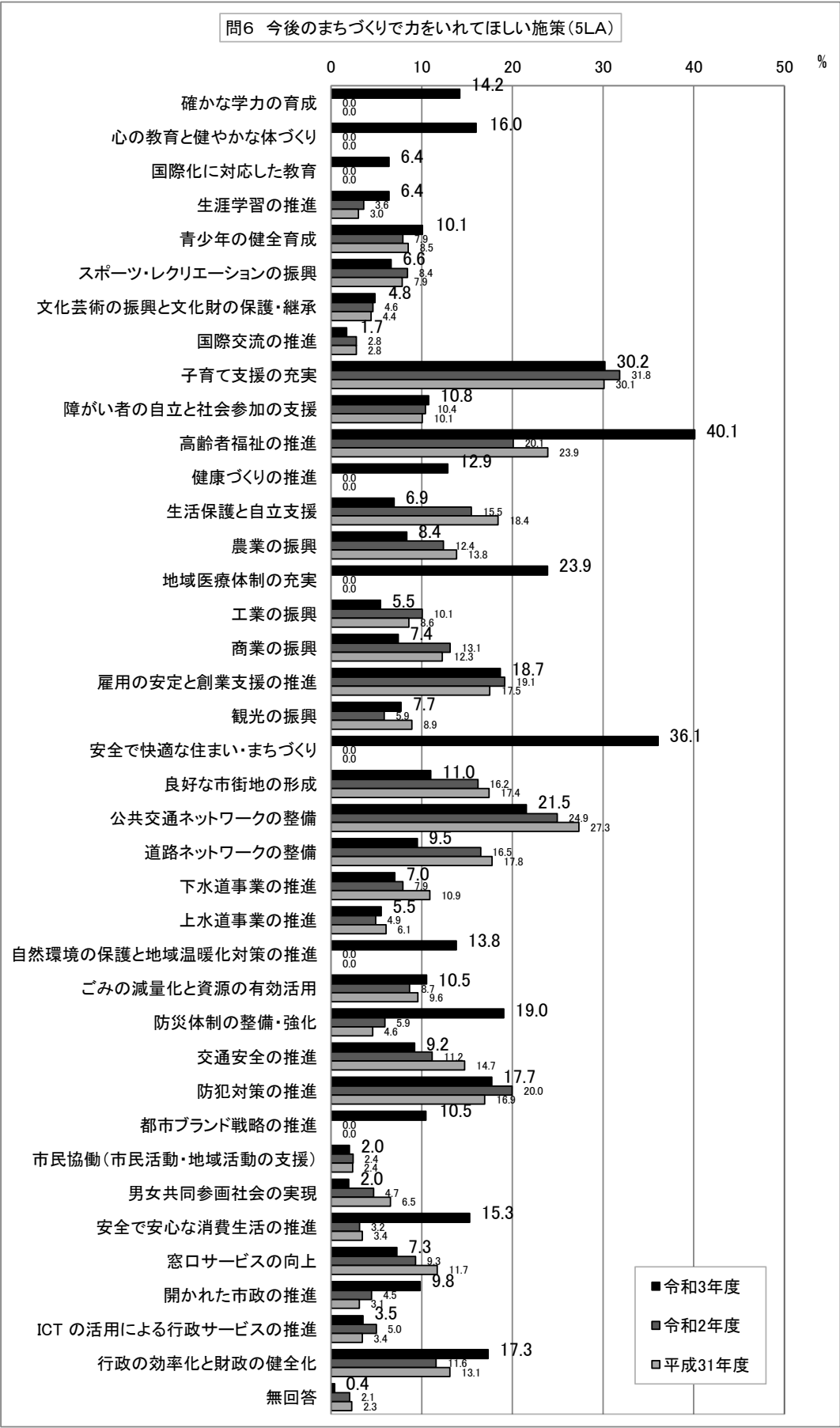
問5 あなたは、真岡市が「どのようなまち」になったら良いと思いますか。
次の中から2つまで選んでください。

真岡市の将来像については、「高齢者や障がい者に思いやりのあるまち」が 34.7%で最も高く、次いで「防犯・防災体制が整った安全性の高いまち」31.5%、「医療機関が充実したまち」24.9%、「子育て支援が充実したまち」22.4%が続いている。



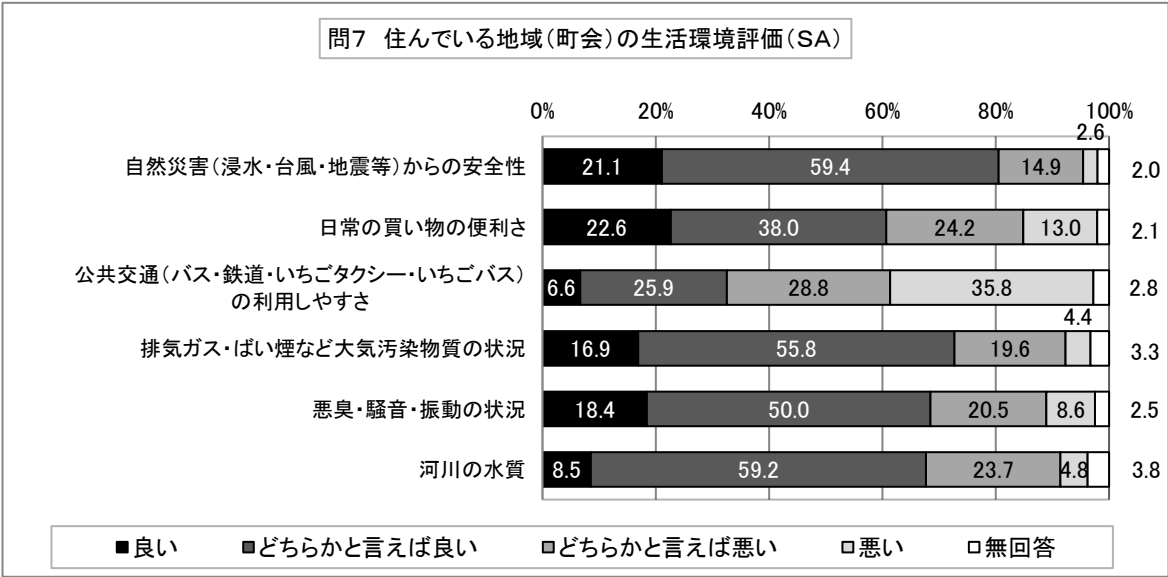
※令和3年度に新設された回答項目につきましては、過去年度の割合は0%で表示しています。

問6 今後のまちづくりについて、あなたが力をいれてほしい施策を5つまで選んでください。



※令和3年度、令和2年度に新設された回答項目につきましては、過去年度の割合は0%で表示しています。

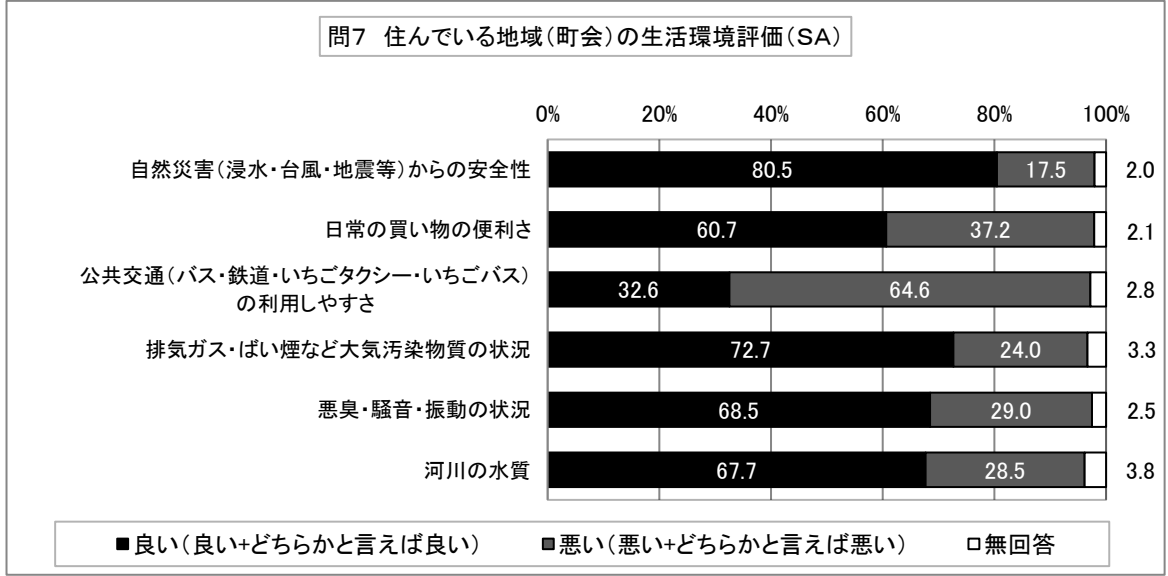
問7 あなたの住んでいる地域（町会）の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目に対して、1から4の中で1つずつ選んでください。



住んでいる地域（町会）の生活環境について、6項目の内5項目が「良い」、「どちらかと言えば良い」を合わせると50%を超えている。最も評価が高い項目は「自然災害（浸水・台風・地震等）からの安全性」で80.5%、次いで「排気ガス・ばい煙など大気汚染物質の状況」で72.7%、「悪臭・騒音・振動の状況」で68.5%の順番であった。

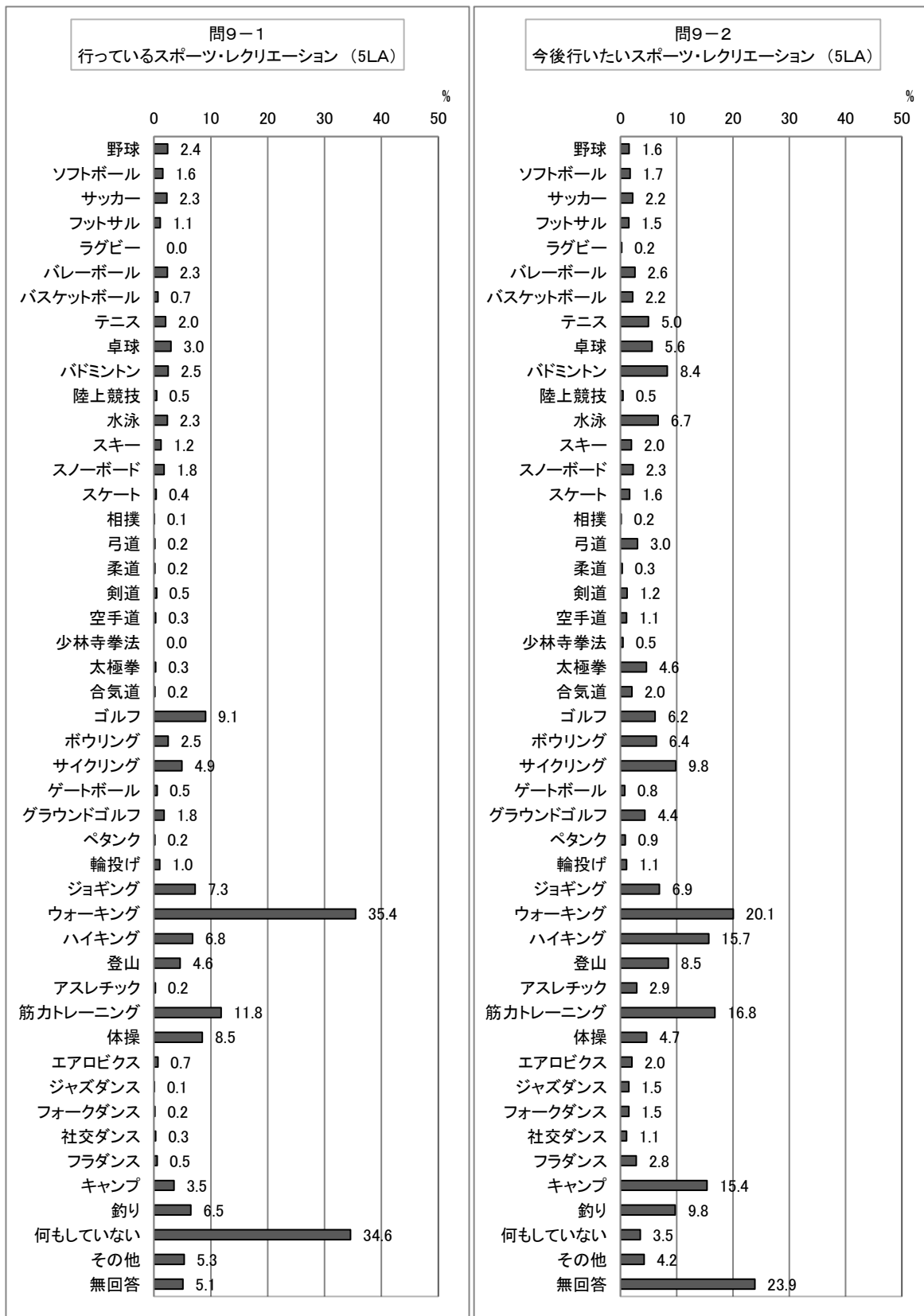
一方、「公共交通（バス・鉄道・いちごタクシー・いちごバス）の利用しやすさ」については、32.6%と特に満足度が低くなっている。

以下は、「良い」+「どちらかと言えば良い」、「どちらかと言えば悪い」+「悪い」の割合を示したグラフである。



【生涯スポーツ・レクリエーションについて】

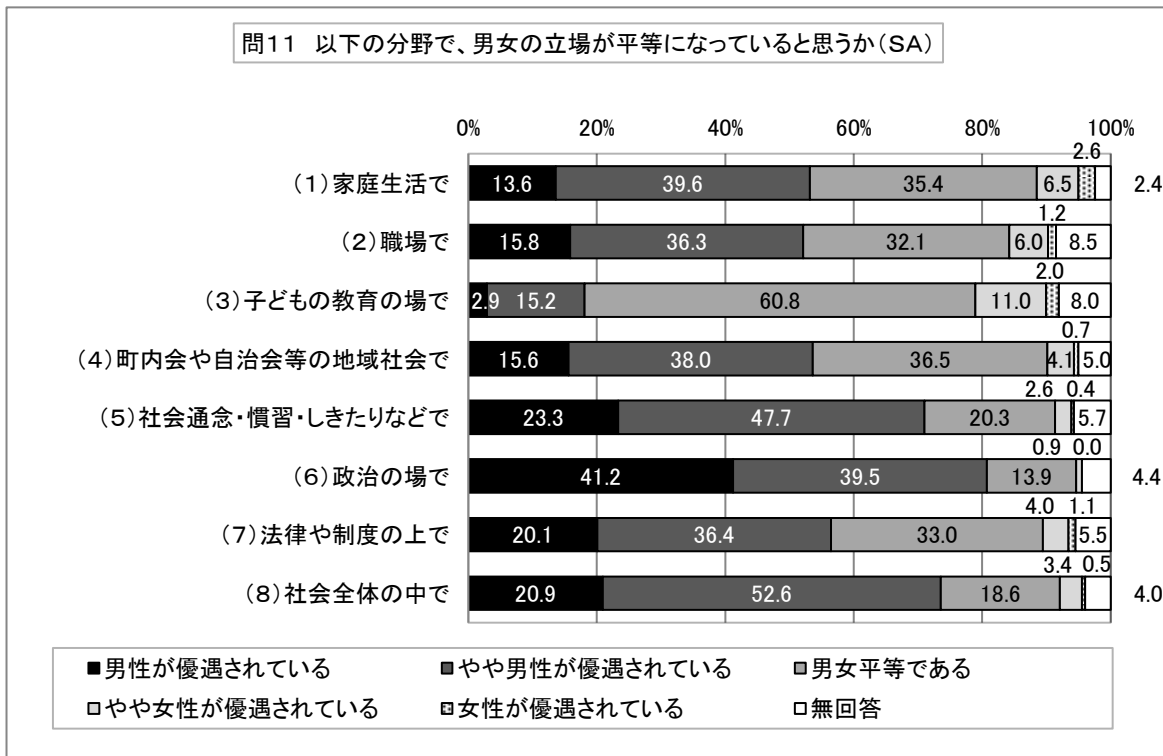
問9 あなたは、日ごろどのようなスポーツ・レクリエーションをやっていますか。
 また、今後どのようなスポーツ・レクリエーションをやりたいと思いますか。
 次の中からそれぞれ5つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。



【男女平等に関する意識について】

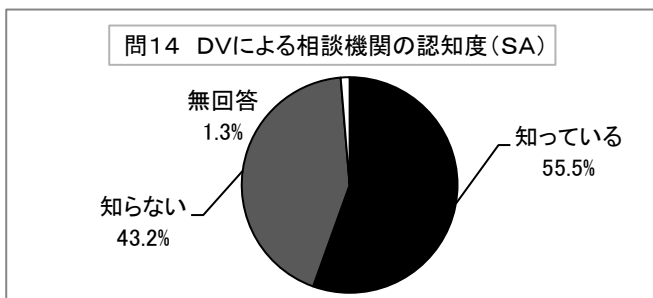
問11 あなたは、次のような分野で、男女の立場が平等になっていると思いますか。

男女の立場の平等については、「男女平等である」が50%を超えている項目は、「子どもの教育の場」60.8%のみで、その他の項目では「男性が優遇されている」、「男性がやや優遇されている」と感じている方が多い。



問14 男女共同参画社会の実現には、あらゆる暴力の根絶に向けた啓発が必要です。
もし、あなたが配偶者等から暴力（DV*）を受けたときに、相談できる機関があるのを知っていますか。

※配偶者や恋人、親子など親しい関係の人から加えられる暴力。Domestic Violence の略。



（DV*）を受けたときに、相談できる機関があるのを知っている割合は55.5%であった。

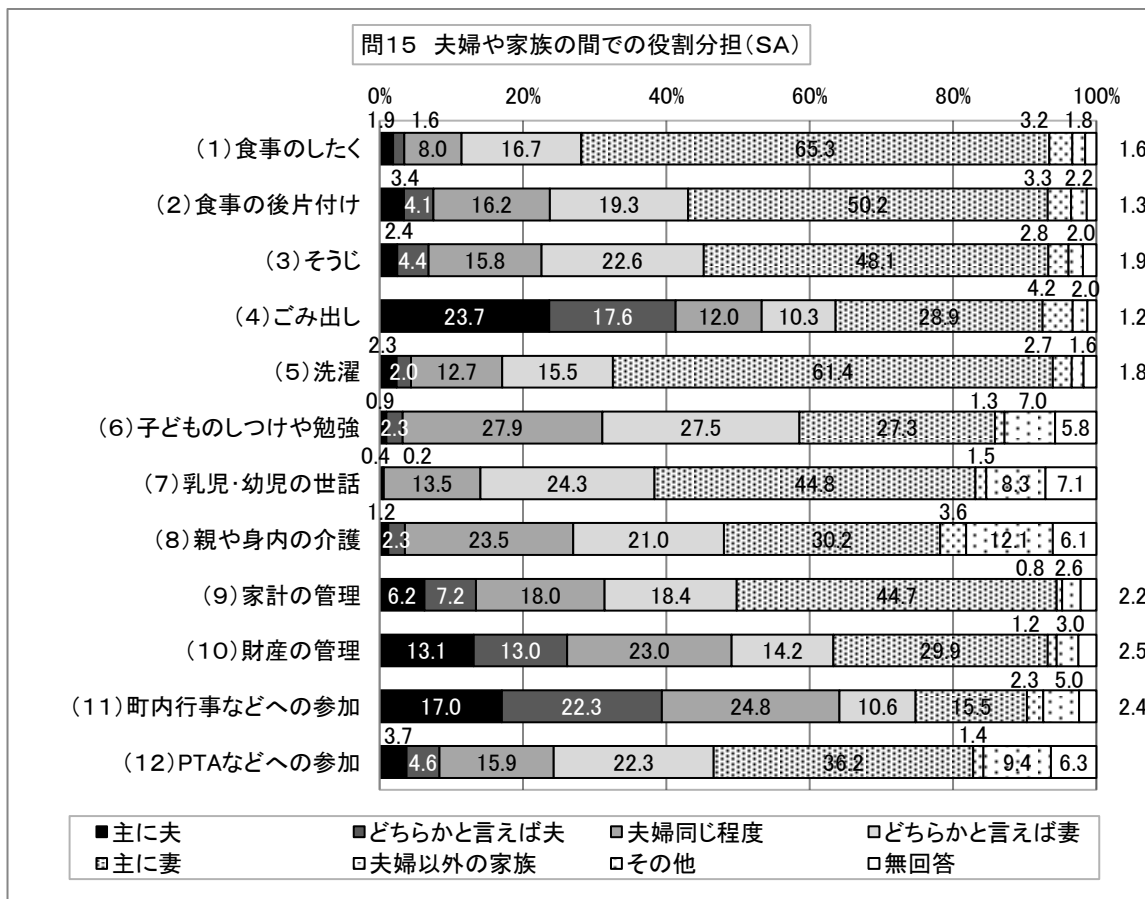
性別では、男性49.7%、女性60.3%であり、年代別では、40歳代が61.5%と最も高い割合であった。

【結婚・家庭生活・子育て・介護について】

問15 あなたは、次の(1)～(12)について、夫婦や家族の間でどのように分担していますか。あてはまるものを1から7の中で1つずつ選んでください。

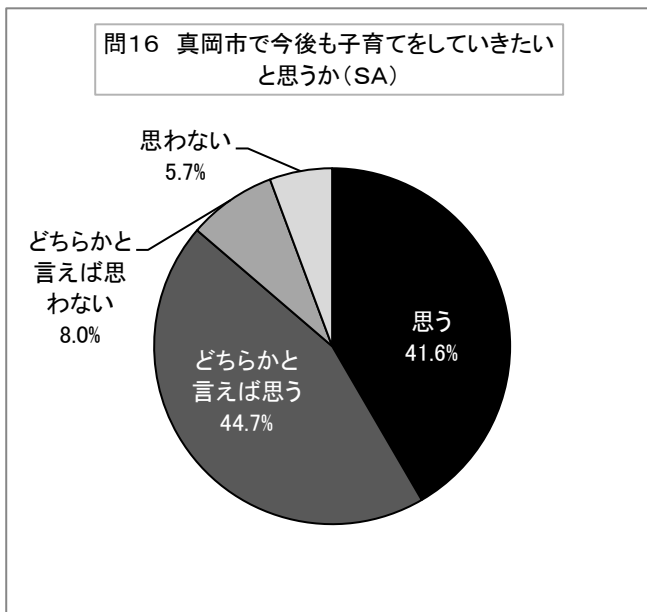
夫婦や家族間での役割分担については、「食事のしたく」、「食事の後片付け」、「そうじ」、「洗濯」、「子どものしつけや勉強」、「乳児・幼児の世話」、「親や身内の世話」、「家計の管理」、「PTAなどへの参加」など、9項目で「主に妻」又は「どちらかと言えば妻」が50%以上であり、その割合は51.2%から82.0%であった。

一方、「ごみ出し」、「町内行事などへの参加」の2項目においては、「主に夫」又は「どちらかと言えば夫」であり、その割合は39.3%から41.3%であった。



【子育てについて】

問16 あなたは、真岡市で今後も子育てをしていきたいと思いませんか。

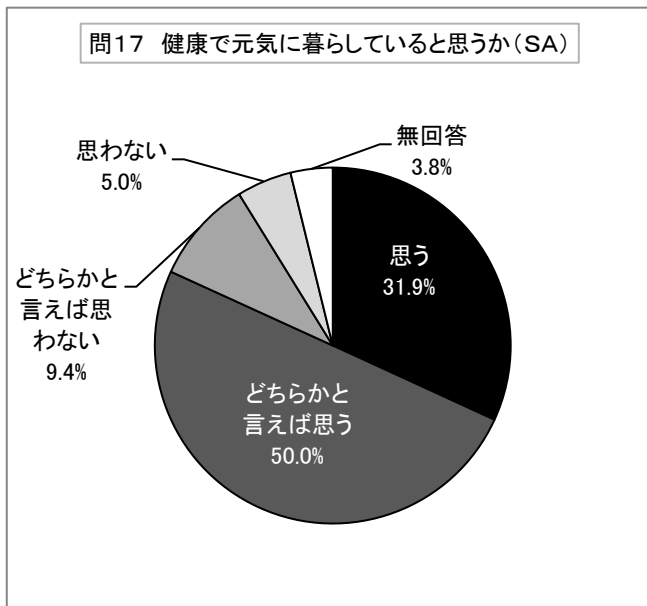


真岡市で今後も子育てをしていきたいと思うかについては、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は86.3%であった。

性別、年代別、居住地区別については、大きな変化は見られなかった。

【健康づくりの推進】

問17 あなたは、健康で元気に暮らしていると思いませんか。

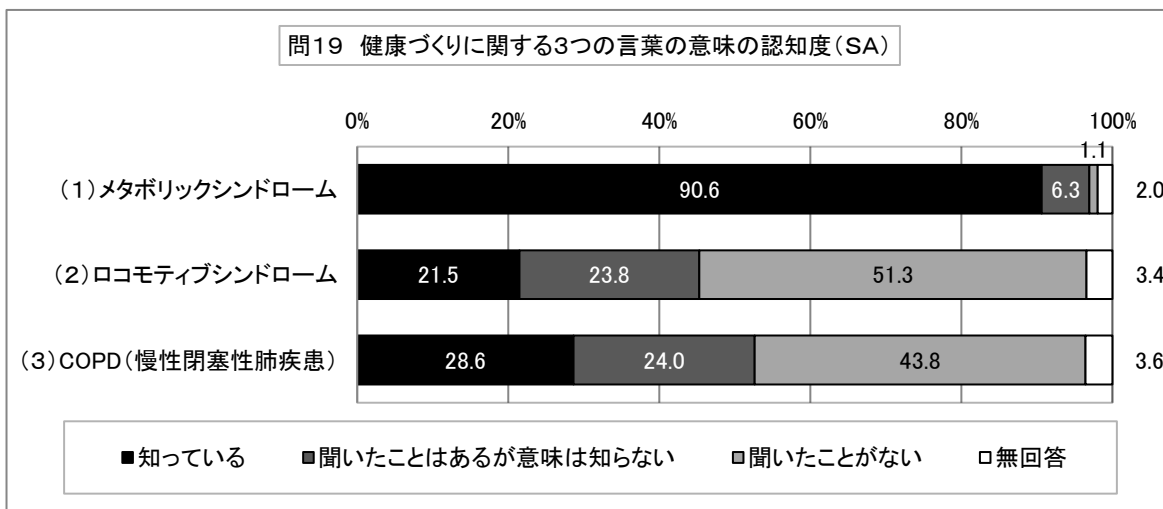


健康で元気に暮らしているについては、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は81.9%であった。

年代別では、18歳から29歳が90.3%で最も高く、年代が上がるに連れて減少傾向がある。

問19 あなたは、健康づくりに関する次の言葉の意味を知っていますか。

健康づくりに関する言葉の意味については、「メタボリックシンドローム」は「知っている」が90.6%と認知度は高い。一方、「ロコモティブシンドローム」は21.5%、「COPD」は28.6%であり、認知度が低い。



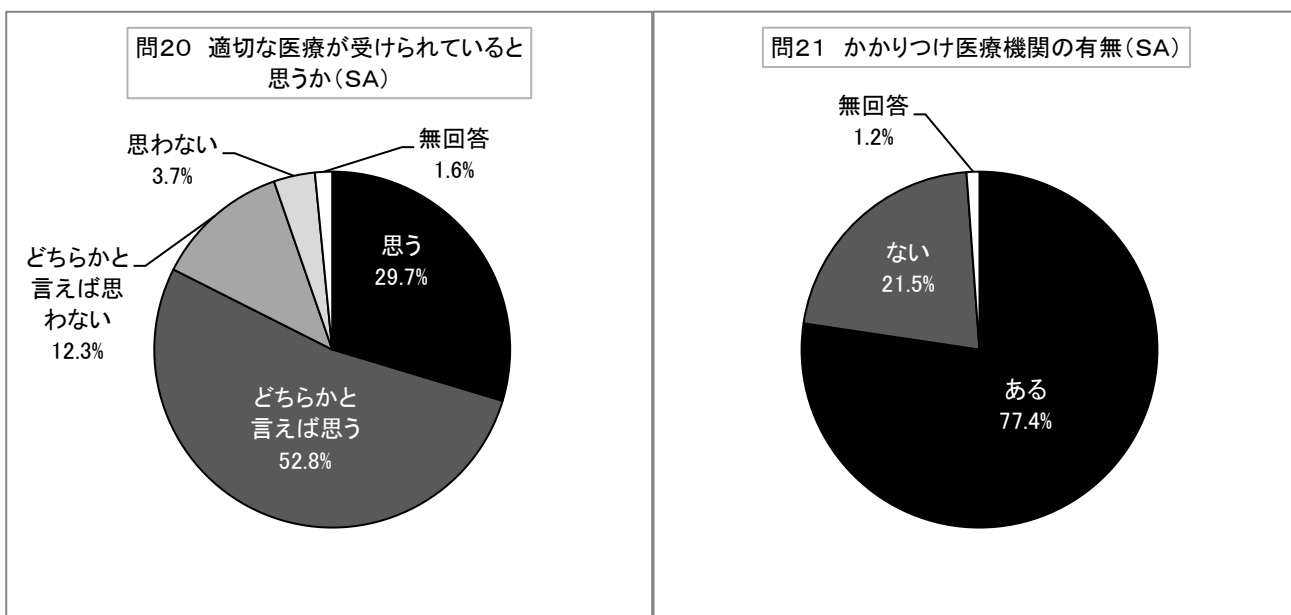
【地域医療体制の充実】

問20 あなたは、地域で適切な医療が受けられていると思いますか。

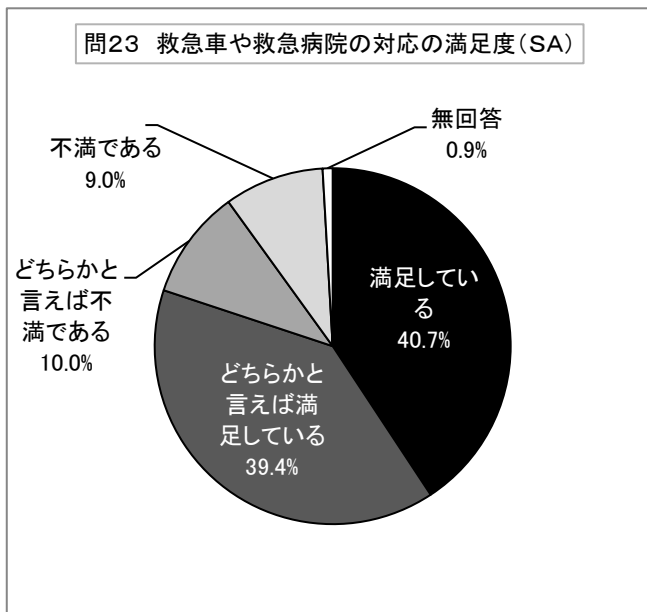
問21 あなたは、かかりつけの医療機関がありますか。

地域で適切な医療が受けられていると思うについては、「思う」が29.7%、「どちらかと言えば思う」が52.8%であった。

かかりつけの医療機関の有無については、「ある」が77.4%、「ない」が21.5%であった。



問23 問22で「1. ある」と答えた方にお聞きします。救急車や救急病院の対応に満足しましたか。

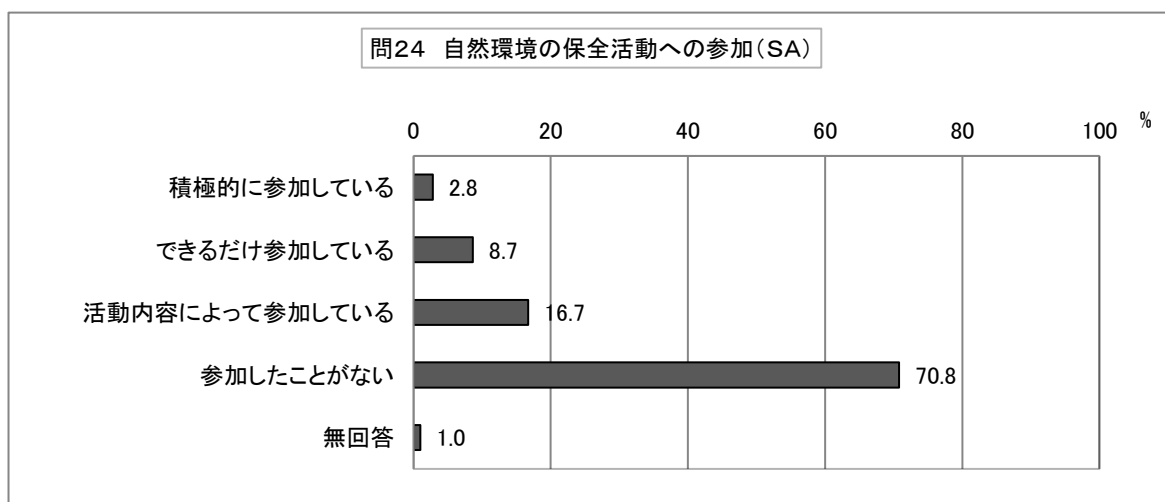


救急車や救急病院の対応については、「満足している」「どちらかと言えば満足している」を合わせると80.1%であった。

【自然環境の保全と保護について】

問24 あなたは、“とちぎの元気な森づくり”などの里山保全活動や、河川の草刈・清掃活動、動植物の生息地の保全や生き物調査など、市内の自然環境の保全活動に参加していますか。

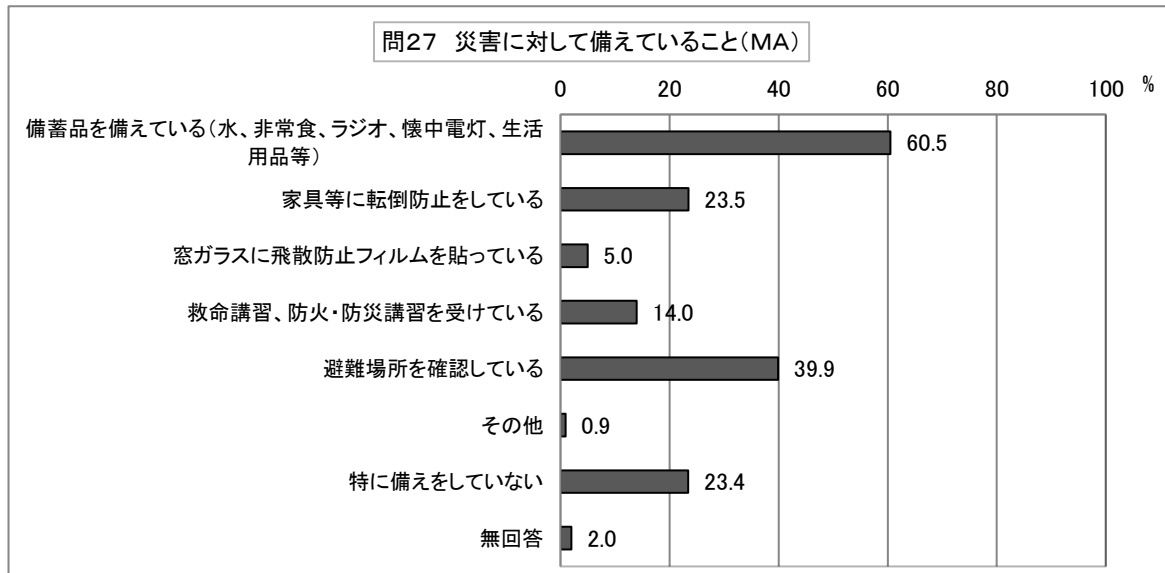
自然環境の保全活動への参加については、「活動内容によって参加している」が16.7%、「できるだけ参加している」が8.7%、「積極的に参加している」が2.8%であった。



【消防・防災対策について】

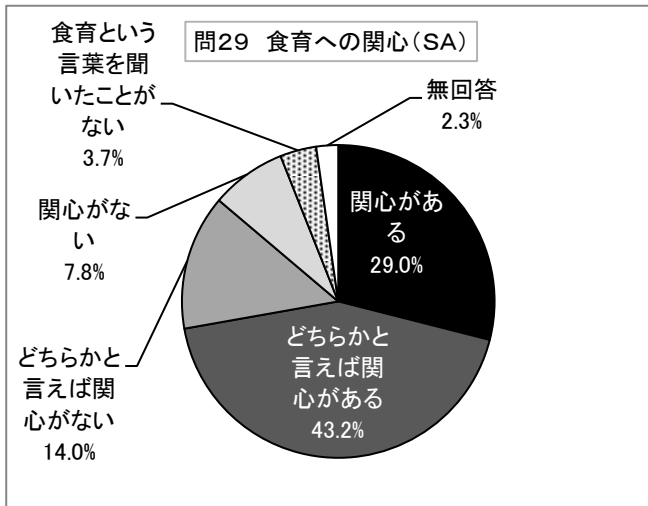
問27 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。

災害に対しての備えについては、「備蓄品を備えている（水、非常食、ラジオ、懐中電灯、生活用品等）」の60.5%が最も高く、次いで「避難場所を確認している」の39.9%、「家具等に転倒防止をしている」の23.5%の順であった。



【農業の振興（食育の推進）について】

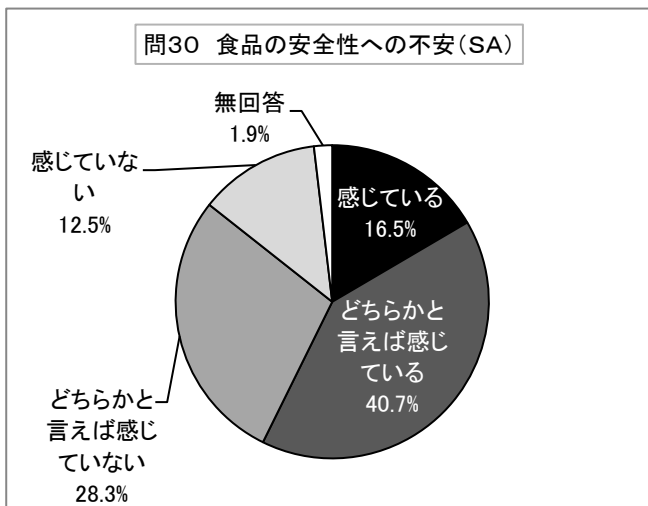
問29	あなたは、食育に関心がありますか。
問30	あなたは、食品の安全性に不安を感じていますか。
問31	あなたは、食事バランスガイドの内容を理解していますか。



食育への関心については、「興味がある」、「どちらかと言えば興味がある」を合わせると、72.2%であった。

性別では、男性64.6%、女性78.8%であり女性の方が関心度が高い。

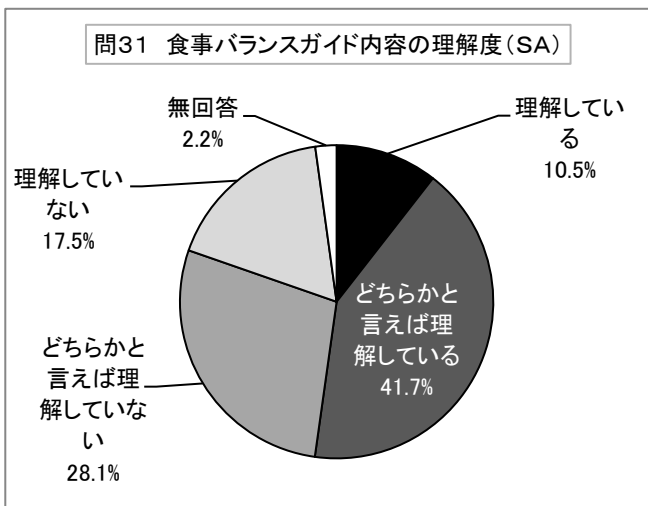
年代別では、60歳代の74.7%が最も高く、次いで70歳代の73.0%であった。



食品の安全性については、不安を「感じている」、「どちらかと言えば感じている」を合わせると、57.2%であった。

年代別では、60歳代の65.8%が最も高い割合であった。

また、年代が上がるにつれて、不安の割合が高くなる傾向がある。



食事バランスガイドの内容については、「理解している」、「どちらかと言えば理解している」を合わせると52.2%であった。

年代別では、70歳代の理解度が最も高く、62.6%であった。

また、年代が上がるに連れて理解度が高くなる傾向がある。

令和3(2021)年度
施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市民意向調査報告書
令和3(2021)年6月

編集・発行 真岡市総合政策部総合政策課
〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191
TEL : 0285-83-8102
FAX : 0285-83-5896
E-mail : sougouseisaku@city.moka.lg.jp
<https://www.city.moka.lg.jp>
